

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡山県岡山市立南輝小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒702-8023

岡山市南区南輝3丁目6番9号

E-mail nankis@city-okayama.ed.jp

Website <http://www.city-okayama.ed.jp/~nankis/>

幼児児童生徒数 男子 284名 女子 255名 合計 539名

幼児・児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「地域の人たちとつながる・地域の環境を守るプロジェクト」を活動テーマとして、ESDを社会とのつながりをより意識した教育と捉え、ESDの実践を通して自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的・協働的に探究し、学びの成果等を表現し、更に実践に生かしていけるようにする力の育成を目標とした。

具体的には、総合的な学習を柱に、①地域の人・歴史に係わる活動、②地域の自然に係わる学習、③地域の環境に係わる学習、④地域の未来に係わる活動を行った。

① 地域の人・歴史に係わる活動

- 1年「季節の行事や遊びを楽しもう」
- 2年「どきどきわくわくまちたんけん」
- 3年「なんきのイイネを紹介しよう」
- 4年「南輝バリアフリー」

1 学年は、地域のお年寄りや地域ボランティアの方々と一緒に、七夕飾りを作ったり正月や昔の遊びを一緒に行ったりしながら、交流を重ねた。そして、11月には、お世話になった方々を学習発表会に招待して、感謝の手紙を贈る。この活動を通して、児童は、地域の方に感謝の気持ちをもつこと、感謝の気持ちを表すこと、自分が地域のいろいろな人とつながっていると実感することを経験し、自分の住む地域に愛着をもつことができると考えた。この活動では、昔遊びを体験することが、子どもたちやお年寄りにとって一つの大きな楽しみになっている。めんこや羽子板、こま、お手玉、竹馬などの遊びをお年寄りや地域ボランティアの方々に教えていただく中で、自然に会話が弾み、いつも会場は温かい雰囲気包まれている。

② 地域の自然に係わる学習（3年）

3年「生き物はかせになろう」

3 学年は、校内にいる生き物を観察することで、身のまわりにいる生き物に関心をもちはじめた児童が、清掃前のプールに入りヤゴの救出をし、羽化するまで育てる活動をする。（ヤゴ救出作戦）ヤゴの救出をきっかけとして、身近にいる小さな生き物が生きていくための持続可能な環境について考えたり、地域の環境問題について自分で考えたりする。その後、一人一人が身近にいる小動物や昆虫、植物などの生き物の一つを選び、図鑑やインターネットを活用して情報を収集し、友達や保護者に発信する（発表ボード・マジックなどの使用）。また、夏季休業をはさんで、一人一人が調べ学習をした小動物や昆虫、植物のその後の様子について再度経過を見ることで、生き物と環境とのかかわりについて横断的な見方や考え方ができるようにした。そうすることで地域の環境を守ろうとする実践力を育てることにつながるものと考えた。

③ 地域の環境に係わる学習

4年「リサイクルを考えよう」

5年「南輝学区の水の環境を考えよう」

5 学年は、学区にたくさんある河や用水など、身近な環境問題に問題意識をもつところをスタートとし、地域の環境に目をむけさせた。河の環境マップの作成や環境学習センターの出前講座から環境保全に向けての意識を高め、身近な自然について考え、自分自身を振り返る。社会の中で自分にできることはないかを考え、実践活動に取り組んだ。実践活動後、各自の取り組みをクラスや学年で交流する（発表ボード・マジックなどの使用）ことで、環境保全に向けての取り組みをさらに広げていきたいと考えた。

④ 地域の未来に係わる活動

6年「南輝かがやき隊」

6学年は、進級当初より、委員会活動や登校班活動など以外にも、学校や地域のために「最高学年として、今、自分たちにできることはないか」を考え、グループごとに実践を重ねている。この活動を本校では『南輝かがやき隊』とって、10年以上前から総合的な学習の中で取り組んできている。例えば、1年生との交流活動、あいさつ運動、各種ボランティア活動である。活動を終わったら、自分自身やクラス全体で振り返りをするすることで、活動内容を整理したり、他教科と関連させたりして学びを深め、次の活動につなげることができる。学年末には、保護者や、活動を引き継ぐために5年生に向けてポスターセッションや発表会などを行った。(発表ボード・マジックなどを使用)。



① の写真 (キャプション)



② の写真 (キャプション)



③ の写真 (キャプション)



④ の写真 (キャプション)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

各学年の関連する教科の教科書
児童が各自で調べ学習に利用したウェブサイト (ほとんどの児童が家庭学習として自主的に調べてくるので、様々なサイトで調べています。)
児童が各自で調べ学習に使用した図書館の書籍
環境学習センターアスエコのパンフレット
岡山市東部クリーンセンターのパンフレット
岡山市下水道河川局のパンフレット
認知症サポーター養成講座のパンフレット

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

総合的な学習の計画を立てる際に、ESDとしての視点を考えて計画をしている。各活動の中で、多様性、相互性、有限性、公平性、連携性、責任性などの観点から子どもたち自身が課題を見出し、解決を考えていけるかどうか、また、批判的に考える力、未来像を予測して計画を立てる力、多面的、総合的に考える力、コミュニケーションを行う力、他者と協力する態度、つながりを尊重する態度、進んで参加する態度などが身につけられる内容かどうかを年度末に全教員で、見直し、共通理解できる場を設けている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

ESDの担当者と総合的な学習の担当者とで学校内で行うESDが総合的な学習の全体計画に反映されるように研修計画を組んでいる。その上で、各学年で総合的な学習の年間計画を作成しており、その中にESDとしての取り組みを組み込んでいる。毎年、年度末に活動の報告と見直しを全体研修として行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

岡山市が行っている学校評価の保護者用・児童用の結果より考察

地域の方々や保護者には総合的な学習としての取り組みとしての認識はされているが、それがESDに繋がっているとの認識は薄かった。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学校だよりの中で本校が行っている取り組みをお知らせできるものについてはお知らせしている。学校だよりは保護者や地域の方に配布されており、また本校HP上でも見られるようになっていました。また、校外で行っている活動に地域の方も関心をもってくださり、5年生で地域の水質調査をしていることを地域の方が知ったことで、池の清掃活動として船を出して池の清掃を自発的にして下さる方々も現れました。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

P T A あげぼの町内会副会長 シルバー見守り隊隊長
地域ボランティア(地域安全パトロール隊等) 交通安全母の会
環境学習センターアスエコ 環境学習出前講座
岡山市東部クリーンセンター 岡山市下水道河川局下水道経営企画課
認知症サポーター養成講座 公益財団法人岡山市ふれあい公社
社会福祉法人岡山市社会福祉協議会ボランティアセンター
かとう内科並木通り診療所 地域環境保全有志の方々(三角池)

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

ありません

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

元々、地域の方々は学校教育に関心が深い方が多いため、上記⑤でも書いたように、地域の方が本校の活動を知り、自発的に行動をしてくださる。また、活動を行う上で地域の方や企業などに協力をお願いすると、快く引き受けてくださっています。このように、学校と地域がより深く結びついていっていると感じています。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

今年度と同等に「地域の人たちとつながる・地域の環境を守るプロジェクト」を活動テーマとして、

- ① 地域の人・歴史に係わる活動
 - 1年「季節の行事や遊びを楽しもう」
 - 2年「ドキドキわくわくまちたんけん」
 - 3年「なんきのイイネを紹介しよう」
 - 4年「南輝バリアフリー」
- ② 地域の自然に係わる学習
 - 3年「生き物はかせになろう」
- ③ 地域の環境に係わる学習
 - 4年「リサイクルを考えよう」
 - 5年「南輝学区の水の環境を考えよう」
- ④ 地域の未来に係わる活動
 - 6年「南輝かがやき隊」

上記のような計画をしています。